



「テスト」という階段

虫の音、空の雲、朝夕のひんやりとした空気…。秋の気配も少しずつ深まっています。秋の味覚と秋の夜長をぜひお楽しみください。

さて、昨日からテスト週間に入り朝と放課後の諸活動がなくなりました。お子様は中学で何回目の定期テストになるのでしょうか。

試験は自分との戦い。桜中祭と同様、少しでも良い結果に向けて計画的で継続性のある努力を重ねて行ってほしいです。これまで一段一段上ってきた自分をさらなる高みに引き上げていくことができるよう、ぜひ見守ってあげてください。

To 大根438

1点にこだわっていこう ~私はダメだと思わない~

☆テスト本番中

- まずは！ 解答用紙から「空欄」をなくそう
⇒ 記号・番号、必ず書こう
文章解答や証明問題、途中までになってもいいから書く 書く
- 問題用紙をさっと見て、取り組みやすそうな問題から始めていく
- 見直しは焦ってやらないで、時間内でできるところまで



☆直前の休み時間

- 終わった教科は振り返らない WCに行ったり新鮮な空気を深呼吸
- 次の教科を最終チェック

☆家での過ごし方

- 当日朝は、試験開始3時間前起床 & 朝食 & その日の最終チェック
- 脳にリズムを
⇒ 例えば 家での規則正しい過ごし方
例えば 45分学習して15分の休憩（テストと同じリズム）
- 深夜0時の前には必ず入眠
⇒ 記憶の定着には睡眠が必要 寝る前にスマホやPCの画面は×



教職員の「働き方改革」が始まります

学校職員に対する勤務実態調査の結果、「過労死ライン」を超えて仕事をしている教職員が多数いることが分かり、文部科学省をはじめ、県・市の教育委員会でも検討委員会や推進委員会を立ち上げ、対応に取り組んでいます。

過度な超過勤務は心身への悪影響だけでなく、本来の業務である「授業」「生徒支援」「学級・学年経営」等の準備・研究に注ぐ時間やエネルギーに支障をきたしています。

大根中学校は、秦野市の試行校として別紙（教育委員会・校長の連名の文書）のような取り組みをこの10月から始めます。スムーズな移行につながるよう、当分の間は柔軟な対応を図りながら進めることにしていますのでよろしくお願いいたします。

子ども達の成長のために教員自身が健康で生き生きと業務に臨み、笑顔と、気持ちにゆとりのある姿で日々子ども達と向き合っていく『子ども達のためになる改革』として、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

教職員の働き方と試行について Q & A



Q：学校教職員の「勤務時間」を教えてください。

A：8時半～17時です。

Q：休憩時間はどうなっていますか？

A：昼は昼食指導や昼休みなど生徒の生活があるので、16時～16時45分に設定されています。しかし、生徒会や部の活動、相談活動、学習支援、会議の実施などで、実際には休憩をとることは難しい状況となっています。

Q：残業手当はあるのですか？

A：学校の教員には仕事の性質上、「残業」という制度はありませんが、法律により、給与の4%相当分を調整額として支給されています。

Q：部活動指導の現状を教えてください。

A：平日は、朝7時半から活動場所の開錠にあたり、放課後は完全下校時刻までの活動となっています。また、土・日、祝日は、大会・コンクールの開催時期を考えながら、生徒の健康面に配慮し計画的に取り組んでいます。

Q：「電話は平日の7時半～18時半の間でお願い」とありますが、それ以外の時間に連絡を取りたい場合にはどうすればいいですか？

A：緊急の場合は、まずは学校へお掛けください。つながらなかった時は「市役所警備室82-5111」へ電話して「緊急である旨と内容」をお伝え下さい。市役所から管理職へ連絡が入ることになっています。

Q & Aの形で補足説明をしましたが、ご不明な点がございましたら、教頭までお問い合わせ下さい。

この通信はカラー版で市HPにアップしてあります。「大根中学校」を検索して、「砂田が丘通信」からご覧ください。

学校通信についてご意見・ご質問等ございましたら、校長または教頭まで声をお寄せください。 77-0446